教育支援ボランティアに行って

京葉中部教会　西川真理

7 月 22 日から 7 月 27 日まで、東北教区被災者支援センターエマオ石巻の教育支援ボランティアに行ってきました。このボランティアは、エマオ仙台の佐藤真史さんの紹介で、知りました。

仙台駅に園川悦子さんが迎えに来て下さり、仙台駅を出発しました。エマオ石巻に行く途中で、津波が来たところの近くを見せてもらいました。家が流された痕や、山積みされた車、被災した小学校を見ました。新聞やテレビで見るよりも、胸に迫って来るものがありました。その後エマオ石巻に到着し、宿泊場所の説明を受けた後はお風呂に入って寝ました。

翌日から活動が始まりました。場所は、石巻の仮設商店街の集会室です。午前中三時間、午後三時間ずつのプログラムでした。この 5 日間、宿題の時間、外遊び、バルーンアート、毛糸でポンポン作り、射的などのレクリェーションと、障子紙や布へのお絵かきがありました。私は主に室内の活動を手伝っていました。子どもたちは午前中多くて午後は少ないことが多かったのですが、最終日のバーベキューには保護者も含めて 70 人ほど集まりました。最終日の前日、石巻の新聞社が子どもたちの写真を撮りに来て、翌日新聞に載りました。今日、その新聞を持ってきています。

ボランティア活動の合間には、エマオ石巻のスタッフに、日和山公園に連れて行ってもらいました。そこに、津波が来る前の石巻の写真がありました。とてもきれいな街並でした。しかし、目の前に見える今の石巻は、ぼうぼうに生えた草、流されてしまった家の跡が見えるばかりです。いまだに居住禁止区域となっているところも広く残っています。5 日間の活動が終わった後、エマオのスタッフの方にエマオ仙台まで送っていただき夕食を食べて、高速バスで帰途につきました。

今回のことで一番感じたのは、子どもたちが選べない状態にあっても元気いっぱいで素直だったことです。特に遊んでいるときはいきいきしていました。このボランティア活動の機会をいただいて、ありがとうございました。